

平成26年行政事業レビューシート

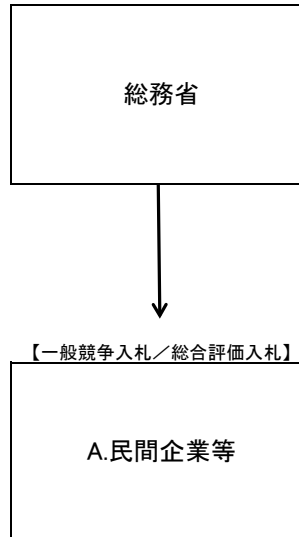
(総務省)

事業名	次世代ITSの確立に向けた通信技術の実証		担当部局庁	総合通信基盤局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成28年度		担当課室	移動通信課		課長 布施田 英生		
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-4 情報通信技術利用環境の整備				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法 第四条第七十六項		関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 世界最先端IT 国家創造宣言(平成25年6月14日閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成25年6月7日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通事故による死傷者数は、近年減少傾向にあるものの、依然として深刻な状態にある。安全・安心で快適な交通社会を実現するためには、既存技術を更に高度化して事故を防ぐこと等が必須であるため、従来の自動車単体での運転支援に加え、車と車、車と人等をつなぐ高度な無線通信技術を活用した安全運転支援システムの早期実用化を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業では、実用環境を想定したテストコース等での総合検証を通じて、車車間通信技術等を活用した安全運転支援システムの早期実用化に必要となる検討課題の抽出・検証を行い、実用サービスが十分機能できるよう通信の信頼性、相互接続、セキュリティ機能を確保・考慮した通信プロトコルを策定する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	210	189	
		前年度から繰越し	-	-	-	0	0	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	0	0	
		予備費等	-	-	-	0	0	
		計	-	-	-	210	189	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (28年度)
	策定した通信プロトコル数		成果実績	規格	-	-	-	-
			目標値	規格	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	①技術課題数 ②運営委員会の構成員数		活動実績	①件 ②人	-	-	-	-
			当初見込み	①件 ②人	-	-	-	①3 ②18
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	①当該年度の執行額÷当該年度の技術課題数 ②当該年度の執行額÷当該年度の運営委員会の構成員数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	①70 ②11.6
			計算式	/	-	-	-	①210/3 ②210/18
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	情報通信技術研究開発調査費		210.0	189.0				
	計		210	189				

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・車車間通信技術等を活用した安全運転支援システムの実用サービスが十分機能できるよう、通信の信頼性、相互接続、セキュリティ機能を確保・考慮した通信プロトコルを策定することは、自治体や民間に委ねることはできず、国が優先度の高い事業として自ら実施すべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、一般競争入札など競争性が確保される方法で実施する予定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	本施策は、交通事故による死傷者数削減に資する車車間通信技術等の早期実用化を目指すものであり、国がやるべき事業である。請負先の選定にあたっては、複数の事業者への聞き取りを行って仕様を検討し、一般競争入札を実施するなど、妥当性・競争性を確保するよう努める。また、執行にあたっては、進捗報告の場を設定し、事業内容の管理・把握に努める。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の一部改善	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	所見を踏まえ、平成26年度においても、委託事業における調査項目の精査、複数社からの見積り取得の徹底等、さらなる経費の効率化を実施。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-0012

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

26年度イメージ



資金の流れ
(資金の受け取り
先が何を行っている
かについて補足
する)(単位:百万
円)

<p>費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)</p>	A.			E.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0	計		0	
	B.			F.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0		
C.			G.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計		0	計		0		
D.			H.				
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)		
計		0	計		0		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					